「特定空き家等対策の今後の具体的扱いは」
「最終的には行政代執行などの措置を行う」

田中義基議員

問 行政代執行あるいは略式代執行を執る場合の手順は。

建設管理課長 空き家法の規定により、是正の命令を行うが、所有者はそれを履行すべき義務を負う。それがなされない場合、措置を行政が代わって執行することになる。

問 代執行は、その所有者の認定が難しく、問題となっている。この判断はどのように行うのか。

建設管理課長 登記・戸籍・税等の情報から、所有者の判断を行う。

問 その判断が難しいから特定空き家等の解消が進まない。そこで、たとえば地方税法上の相続代表者を所有者と見なし、その方の承認があれば代執行等の執行が出来るよう、独自の条例等の制定は検討できないか。

建設管理課長 それは難しいが、特別措置法などで捜査方法が細かに規定されているので、これを行うことで所有者不明土地となれば、略式代執行を行う。

◆〈アメダス〉機器の設置場所について

問 ここ数年、高鍋町の最低気温が低く報告されている。「県内でも温暖な気候の高鍋」という印象にダメージがあると思うが、この観測機器設置場所の変更の経緯は。

総務課長 以前は蚊口保育園跡地にあったが、同所に津波避難タワーが建設され、環境変化の影響を考慮し移転が必要となった。

宮崎地方気象台の依頼により、町有地を数カ所紹介したところ、高鍋湿原が設置条件に合致すると判断され、平成29年3月から運用が開始された。

◆施政方針について

問 施政方針に多く記述があるLPWAだが、どう推進していくのか。

町長 エイムネクスト㈱様と包括的連携協定を締結し、LPWAによるIoTネットワークが構築された。取得できるセンサーデータ等を利用し、高齢者の見守り等、幅広い分野での実証実験や実装化への取組みが行われている。職員による自主研究グループや、SDGsネットワーキンググループでの議論を深め、LPWAネットワークを活用した事業の検討を図りたい。

問 高鍋町を、全国でも個性ある貴重なスマートシティに仕上げるため、それぞれのアプリ等の取組進行を束ねて推進する部署の設置はできないか。

町長 今後の状況を見ながら、必要に応じて検討する。

意見 空き家等対策は、計画に沿って確実にしっかり進めて頂くようお願いしたい。

湿原に設置されたアメダス機器

「不妊治療の保険適用について」
「年齢の制限と回数の制限がある」

森弘道議員

問 不妊治療が保険適用となる要件は。

健康保険課長 治療開始時の女性の年齢が43歳未満であること。ただし、治療回数には40歳未満が6回、43歳未満で3回の上限がある。基本的には助成の対象であった治療は保険診療の対象となる。

問 保険適用メリットと助成金制度の関係は。

健康保険課長 メリットは、医療機関窓口での支払いが3割の自己負担で済むこと。デメリットは、保険診療として認められない診療を行うと、保険診療分まで全額自己負担となること。また、これまで全額が助成金で賄えていたケースでも自己負担が生じることなど。

問 この自己負担分について、町独自の助成は考えられないか。

町長 他の疾病との均衡を考慮する必要はあるが、夫婦の経済的負担の軽減を図り、子どもを産み育てる環境づくりの推進に必要であり、少子化対策の一環として検討していく。

◆デマンド交通の利用状況について

問 デマンド交通の実証実験が昨年10月から始まったが、これまでの実績と課題を伺う。

町長 利用者は町内巡回バスが月平均220人、デマンド交通は532人で約2.4倍となっている。課題は、既存の公共交通との競合が生じること。また、そのことで本格運行時には、国庫補助等の対象とならないことが考えられること。

利用者アンケートの内容と結果を伺う。

地域政策課長 アンケート内容は、年齢・運転免許の有無・外出時の移動手段・外出の頻度・設定運賃・今後の運行など。結果は、利用目的は通院と買物が多く、外出機会が増加したとの回答が61％。今後の運行継続を希望する回答が88％となっている。また一方で、自宅までの運行や、タクシー利用運賃の補助を望む意見も頂いている。

問 停留所以外での乗車とか降車はできないのか。

地域政策課長 直接、類似した要望もあるが、停留所に限定させて頂いている。停留所は随時必要な場所には設置していきたい。

問 タクシー事業者との棲み分けについては協議されているのか。

地域政策課長 デマンド交通を進めるうえで、タクシー事業との競合は大きな課題である。本格的な運行に向けて地域公共交通会議で十分協議を行っていく。

試験運用中の高鍋町デマンド交通

「高鍋勤労者体育館の対応は」
「令和７年度に廃止予定」

春成勇議員

問 勤労者体育館は町民が体を動かし、健康促進の為の利用が多い。令和7年度に廃止するとのことで町民が反対しているようだが対応は。

町長 公共施設個別施設計画のもと、今後の人口減少や財政状況を考えると継続して管理していくことは難しく、水害時の浸水区域であることや劣化状況から廃止を予定している。

問 小丸河畔運動公園野球場は昨年はナイター設備が故障し、野球が出来ない状況だったが現在の状況は。

町長 使用されている水銀灯は製造が禁止になり、老朽化も進んでいる。今後の維持管理は十分な検討が必要である。

問 げんこつラーメンの西側の排水路に土砂が堆積しているが、その対応は。

建設管理課長 次年度予算で対応していきたい。道路等未整備の対応は。

町長 国の補助金等を活用しながら整備してまいりたい。

問 令和2年で空き家が315件、その他に空き地がある。今後は増え続けてくると思われるが、空き家・空き地をまとめた相談課を設けて専門官を配置し積極的な動きをしてはどうか。

町長 空き家・空き地を解決する為、いろいろと今後検討していきたい。

問 町内における国道10号線の4車線化の進捗は。

建設管理課長 令和2年に国道10号整備促進期成同盟会を設立しており、早期実現に向け、国に要望してまいりたい。

問 国道10号線と堀の内公民館の通りの接続線は。

建設管理課長 令和5年度に着手する予定をしている。

問 高鍋町内の要介護認定者数は。

健康保険課長 令和元年度950名、令和2年度969名、令和3年度は959名になっている。

問 小中学校の給食の無償化は出来ないのか。

町長 国の関与なしでは、学校給食の無償化を実現するのは難しい。

問 コロナ感染者数が減少している中で、今後の対応は。

健康保険課長 5月8日から感染症法上の分類が5類に引き下げられる予定である。その時々の場面や状況に応じて、適切に行っていただきたい。

道路整備が待たれる国道10号線の接続線